

## 富山高校物語Ⅹ 君の物語は、ここから始まる

ここからは、皆さんの成長の物語が始まります。

高校生活の中で、生涯の友との出会い、先生との出会い、多くの方々との出会いを通じて、自分をよりよく変えていってください。

大きな苦難は、自分を成長させてくれます。自分の努力とともに、周りからの協力も大きな力になります。

「学びたき者集う」本校では、一人では乗り越えられないことでも、力を合わせ励まし合い、学び合い、乗り越えることができます。友人の力、先生の力、多くの方々の力を合わせることができる。それが、本校のよきです。

よき友には、引け目を感じる時もあるかもしれません。そんな時は、友のよきを手本にしてみましょう。

「真似ぶ」は「学ぶ」の第一歩です。人間は乳幼児の時から、親や周囲の人を真似て多くのチャレンジをし、失敗をもとに学び、成長してきました。失敗を乗り越えて成し遂げた、大きな喜びこそ成長の糧です。

それは、これまでのあなたの成長の物語でした。そして、これからの物語でもあります。

意欲をもって課題に立ち向かい、自ら学び続けるとともに、身近な友を手本とし、ともに学び合うことは、幸せなことです。両方を満たす本校の環境の中で皆さんは大きく成長します。

友と比べるのではなく、昨日の自分と比べて、一步一步成長する手応えを感じてください。

ここから、皆さんと私たちの成長の物語を始めましょう。



授業風景 生徒の学び合い

※i ブラウネル CLARENCE LUDLOW BROWNELL (1864年～1927年) 米国人。日本研究者、教育者。

※ii 「ヘルン文庫」 当初は、旧制富山高等学校にあり、戦後、富山大学附属図書館が管理している。

※iii 『日本の心』(原題 "THE HEART OF JAPAN") C・L・ブラウネル著 高成玲子原訳 富山八雲会編集(2015年 桂書房)

※iv ハーンの『神國日本』に次いで2位「日露戦争中、米国で読まれた『日本』米国公共図書館で請求された日本及び日本文化関連書物に関する考察」塩崎智(敬愛大学国際研究第16号 2005年)